



# 杭瀬の川

## 「団結～みんなで全力を出し切ろう」

校長 宇津 慎一

37日間の夏休みが終わりました。夏休みの間、児童の皆さんが大きな事故や事件に遭うことなく元気に過ごすことができ、大変ありがたく思います。

今年の夏は、梅雨明けが遅れ日照時間の少ない7月となりました。その後蒸し暑くなり、8月に入ると連日、岐阜県内の市町が国内最高気温で報道されました。大垣も3週間ほど雨が降らず暑い日が続きました。

さて、大垣市の水泳・相撲大会に19名が参加しました。最後まで諦めないで精一杯競技する西小健児の姿から感動をもらいました。そして、感心したのは相撲練習の様子です。時間を守り元気なあいさつで始まります。荷物の整頓もしっかりでき、6年生を中心に全員が全力で練習していました。学校教育目標「美しい心で よく考え すすんでやりぬく子」を体現した本心に素晴らしい姿でした。

いよいよ、今日から学校の生活が再開しました。21日の運動会に向けて、取組も始まります。子供たちが考えた運動会のスローガン「団結～みんなで全力を出し切ろう」には、赤団も白団も団結しみんなが全力を出し切って、最高の運動会にしたいという願いが込められています。その願いを達成するには、みなさん一人一人が自分の役割を自覚して責任を果たしたり、リーダーを中心にみんなの力を合わせたり、当日に向けこつこつと取り組んだりすることが大切です。

保護者の皆様、まだまだ暑い日が続きます。疲れて帰ることも多くなりますので、健康面での配慮をよろしくお願いいたします。



### 【保護者の皆様へ】

#### 画像や動画の取り扱いにご注意ください

昨年度もお伝えしましたが、以下の点についてご注意ください。

インターネットや情報機器の普及により、「誰でも」「無料で」「手軽に」画像や動画を投稿できるようになりました。「投稿サイト」はもちろん、SNSでも画像や動画を投稿したり、掲載したりすることができます。これらのサービスが普及する一方で、児童も含めて利用上の問題が増えてきています。知らないうちに被害者になるだけでなく、意図せずに加害者となってしまう可能性があるため、注意が必要です。

#### ◇ 肖像権・個人情報の取り扱いに注意してください

肖像権：勝手に撮影されない権利・勝手に公開されない権利

個人情報：写真、動画、住所、氏名、学校名、所属団体名等やその組み合わせによって、個人を識別できる情報  
トラブルの多くは、本人（保護者）に無許可で個人情報がインターネット上に公開される（公開する）ことで起こります。閉じたグループ内でも、やりとりしているうちに、情報がグループ外に出てしまうこともあるので、注意が必要です。

#### ◇ 一度掲載された（投稿した）データを完全に消すことは難しいです

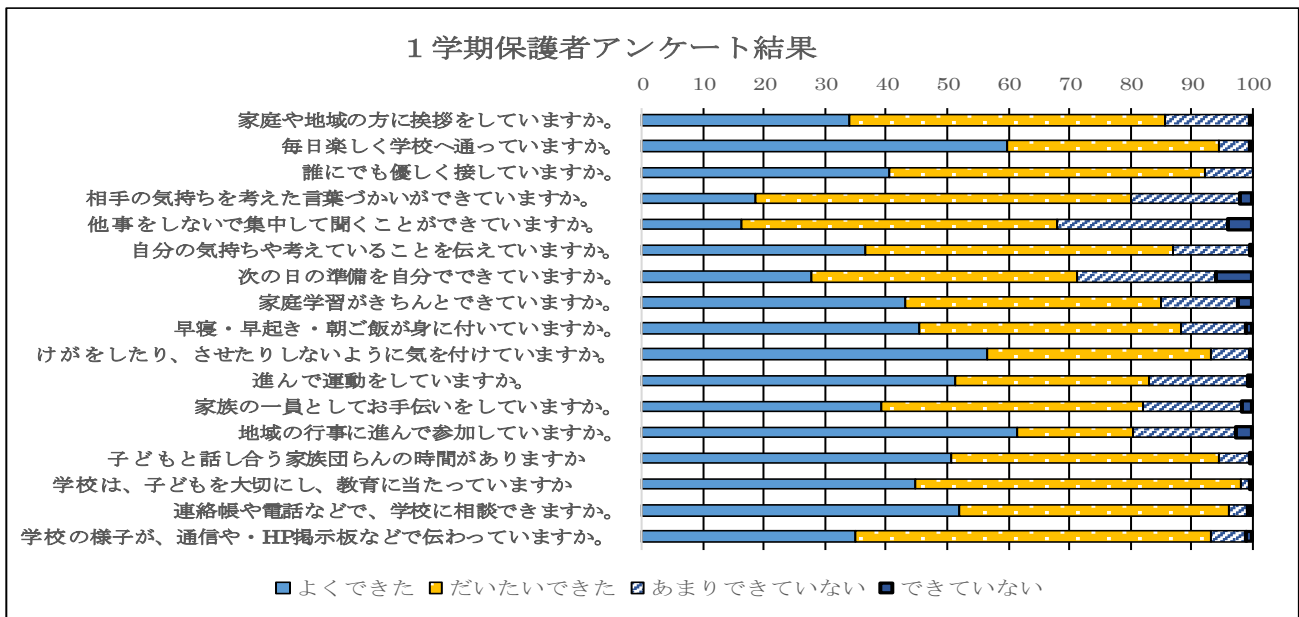
投稿（掲載）された画像や動画のデータを「簡単」「完全」に削除することは難しい状況です。安易にネット上にあがったデータが一生を台無しにすることもあります。

#### ◆ 学校では…

児童の個人情報及び肖像権の保護、ならびに学習に集中できる環境づくりの観点から、**本校教育活動内の保護者個人による動画及び画像の撮影を原則としてお断りしています。**運動会等の行事につきましては、個人で楽しむ範囲に限り撮影していただいてもかまいませんが、わが子以外も写っていることを考慮し、取り扱いは慎重にしてください。学校では、記録用として写真を撮っています。HPに掲載したり、通信に載せたりすることがありますが、個人が特定されないように配慮しています。掲載については、年度当初に確認させていただいていますが、希望されない場合は年度途中でもお申し出ください。

## 西小学校学校評価（保護者アンケート）の集計より

1学期末に保護者の皆様にお願ひしましたアンケートを集計しました。17の項目について、下記のような結果になりました。



「よくできた」「だいたいよかった」の評価を合わせると、多くの項目で80%以上の方から肯定的な評価をいただきました。「下校時に数人の児童に挨拶されます。きちんと目を見てとても感心します。」や「5・6年の女の子は、1年生の子と遊んでくれ、親子共々とても感謝しています。」「手伝いは続けています。」などの子どもたちのよさやがんばりをお知らせいただきました。

「挨拶」については、概ね肯定的な評価をいただきましたが、「よくできた」の割合は34%で、もっとできるようにしたいです。児童の自己評価では、「あいさつがよくできた」は半数以上で、「だいたいよかった」も合わせると90%以上が肯定的な評価でした。1学期間、児童玄関の前で毎朝、6年生の「あいさつボランティア」の子たちが自主的に「あいさつ活動」に取り組みました。2学期も高学年が手本となり、「いつでも、だれにでも、どんなときでも、元気で明るいあいさつができる西小」を目指して全校で取り組みます。

「相手の気持ちを考えた言葉づかい」については「よくできた」という保護者は約20%でした。「誰にでも優しく接しているか」は、「よくできた」が40%で、「言葉づかい」が課題とも言えます。児童の自己評価においては、「よくポカポカ言葉を使っている」が40%でした。保護者アンケートには、「子どもたちに相手を思いやる気持ちや謝ることができる教育をしてくれると嬉しい。わざとじゃなくてもぶつかったりしたときには「ごめん」や「大丈夫」などの一言が言える子でもあってほしい。」や「学級で息子は、いじめにあっているのではないかと不安になる。」というご意見もありました。学校では「人権」や「いじめ」について考え、自己を見つめられるようにしています。「相手が嫌だと感じる言動は絶対にしない」と、どの子も、強い意志をもって行動できるように、継続して指導していきます。

また、評価のよくなかった「話を集中して聞くこと」や「準備を自分ですること」は、来年度からの新しい「学習指導要領」に関わる内容です。「自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力」や「周りの人たちとともに考え、学ぶことができる力」を身に付けられるよう、子どもたちの将来を見据えながら指導や支援を行っています。

次の点につきまして、ご理解ご協力をお願いいたします。

**【連絡帳確認・宿題・提出物確認について】**連絡帳や家庭学習・宿題の見届けの仕方についてご意見をいただきました。学校では、子どもたちの自律や自立の力を育むために、学年に応じて段階的な指導をしています。ぜひ、年度初めに配布させていただいた「家庭学習の手引き」や「よくわかる西小学校!」をご覧ください。また、ご不明な点やご心配なことは、担任でご相談ください。連絡帳を書かれた場合には、必ずお子様にお伝えいただき、自分から提出できるようにご家庭でも声かけをお願いします。

**【登下校について】**「上の学年の男子が下の学年の女子に嫌がることを言っているので少し心配だが、同じ学年の子が間に入り話をまとめたり、代わって話を聞こうとしてくれたりする姿があるので、そっと見守っている。」「児童がバラバラになり、一人で走って帰ってくる子もいれば、遅れて歩いて帰ってくる子がいて少し危険に思う。」「登校中に「危ない」と感じる行動をとる子に対し、地域で声をかけあっていくことが大切だと最近強く感じる。」等のご意見をいただきました。日頃から登下校の様子を見守っていただいています。本当にありがとうございます。学校では職員が付き添って下校したり、登校班長や登校班のメンバーを集めて指導したりしています。通学路の危険箇所や工事、不審者などの情報の把握と対応については、PTAの校外委員の皆様にもご協力いただきながら行ってまいります。

**【すぐメールについて】**「緊急以外使わないで、あらかじめ、子どもやお手紙でお願いしたい。」とのご意見がありました。学校からの配布物やお子様を通じての連絡が確実に届かないことで、保護者の皆様から学校に電話連絡をしていただかなければならない等のご心配をおかけする場合には、やむを得ずメール配信をすることがあります。学校では、「すぐメール」の活用については、緊急以外の活用をしないことを原則としております。そこで、「宿題のお知らせや音読カードの返却ができなかった場合の対応の仕方を児童（保護者）と決めておく」等、メール配信に頼らないように工夫改善してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。